高浜原発再稼働を許さない！
高浜原発から大阪関電本店までのリレーデモで訴えよう

福島第一原発の事故では、十数万人が財産と故郷を失い、多くが関連死され、困窮生活を強いられ、癌の不安にさいなまれています。一方、今でも事故炉の詳細は分からず、事故収束の目途は立たず、汚染水の漏洩防止、浄化作業はトラブル続きです。原発は人類の手におえない装置です。

それでも、九州電力と政府は、8 月 11 日、30 年越えの老朽原発・川内 1 号機の再稼働を強行しました。しかし、同原発は、早速の 21 日、大事故に繋がりかねないトラブルに見舞われました。水蒸気を冷却・復水するために海水を流す細管の破損です。長期に亘り、高温海水に接触してきた同細管の腐蝕は容易に予測できるものですが、原子力規制委の審査では、その点検と取り換えを免れています。このように、規制委の審査では、安全にとって肝心な点の多くが見落とされています。

高浜原発 3、 4 号機も 30 年越えの老朽原発であり、しかも、危険度が高い加圧水型・混合酸化物燃料原子炉です。規制委は、この原発を、安全とは縁遠い「新規制基準」で審査し、本年 2 月に適合としました。

高浜原発で、福島原発級の事故が起これば、地形から考えて、住民避難は極めて困難です。近畿 1450 万人の水がめ・琵琶湖、大都市・大阪、京都、名古屋は、それぞれ 50、60、100、150 km の近距離にあり、甚大な放射性物質被害が危惧されます。若狭の面する日本海は閉鎖水域ですから、海洋汚染も極めて深刻になります。

今、大多数の人々が、原発再稼働に反対しています。それでも、戦争法案を強行し、沖縄に基地負担を強要し、農業、医療などを犠牲にして大企業を優遇する TPP 交渉を行っている安倍政権は、原発再稼働に極めて意欲的です。それは、①使用済み核燃料の処理や保管を考えず、事故による損失を度外視すれば、安上がりである原発電力によって、電力会社や大企業に利潤を与えるためであり、②原発輸出によって、原発産業に暴利を与えるためであり、③原発をベースロード電源とした「戦争できる国」を造るためであり、④核兵器の原料プルトニウムを製造するためです。すなわち、安倍政権は「現代と未来の人々の犠牲の上に、巨大資本に奉仕する国を造り、戦争出来る国を造る」政策の一環として原発を再稼働させようとしているのです。何としても阻止しなければなりません。

ところで、福井地裁は、昨年 5 月の判決に引き続いて、本年 4 月、高浜原発再稼働差止め仮処分を決定しました。人が人間らしく生きる権利が経済的利益に優先することを明言し、原発の危険性を明瞭に指摘しています。しかし、政府、関電、規制委は、異議・不服を申し立て、開き直って、「粛々と」再稼働を準備しながら、異議審と上級審が決定を覆すのを待っています。これらの裁判に勝利して、関電や政府に再稼働を断念させるために、圧倒的な反原発の世論を顕在化させなければなりません。福井地裁の崇高な英断を無駄にしないためにも。

高浜原発再稼働阻止のためには、原発現地・若狭および周辺地域、原発電力の消費地・関西での原発拒否行動の大結集が重要です。しかし、来春早々の再稼働が画策されているにも拘らず、各地の運動は盛り上がりに欠けます。運動の再構築が急務です。

「高浜—関電本店リレーデモ」実行委員会は、若狭、嶺南、琵琶湖周辺、京都、大阪の皆さんに高浜原発再稼働反対を訴え、各地が連帯した再稼働阻止の大きなうねりを構築するために、11 月 8 日に高浜原発を出発し、20 日に大阪関電本店に到着する 13 日間、200 km のリレーデモを提案します。高浜原発前の出発集会では再稼働の動きに抗議し、高浜町役場では原発拒否を求めます。中間各所では交流集会を開き、各地の運動の再構築を呼び掛けます。到着地では関電包囲大集会を行い、関電に原発断念を申入れます。このリレーデモが、高浜−若狭-福井−琵琶湖-関西各地−全国を結ぶ、再稼働阻止大闘争の起爆剤になることを願っています。このデモを契機に、電力会社、財界、安倍政権の心胆を寒からしめるような大闘争を準備し、彼らの原発への野望を根絶しましょう。

「高浜—関電本店リレーデモ」実行委員会

連絡先：木原壯林（若狭の原発を考える会、電話：090-1965-7102、Fax：075-501-7102、
E-mail：kiharas-chem@zeus.eonet.ne.jp）

本企画の概略、賛同者リスト、賛同申込書、参加申込書、実行委員会入会申込書は裏面にあります。

高浜原発から大阪関電本店までのリレーデモ（略称「高浜―関電本店リレーデモ」）の概略コースと日程（**11** 月 **8** 日～**20** 日）

各日の夕刻は、地域の方々との交流集会を行います。（　）内の人数は集会参加者の目標です。

8 日（日）: 高浜原発前で出発集会（抗議集会：100 名以上）の後、高浜町役場までデモ
9 日（月）: 高浜町役場前で高浜町への申入れ集会の後、小浜駅までデモ
10 日（火）: 小浜駅前を出発して熊川宿までデモ
11 日（水）: 熊川宿を出発して今津までデモの後、集会（50 名以上）
12 日（木）: 今津を出発して高島（勝野）までデモ
13 日（金）: 高島を出発して近江舞子までデモ
14 日（土）: 近江舞子を出発して堅田までデモ
15 日（日）: 堅田を出発して関電大津支店までデモの後、集会（100 名以上）
16 日（月）: 大津を出発して関電京都支店までデモの後、集会（200 名以上）
17 日（火）: 京都を出発して長岡までデモ
18 日（水）: 長岡を出発して、上牧を経由して、高槻までデモの後、集会（100 名以上）
19 日（木）: 高槻を出発して吹田までデモ
20 日（金）: 吹田を出発して関電本店までデモの後、申入れおよび関電包囲大集会（1000 名以上）

・デモは各区間（平均 13 km）を最低 10 名で行いますが、体力に応じて、一部を歩き、他は車による街宣に参加することが出来ます。途中飛び入り参加も呼びかけ、歓迎します。街宣、救護車を最低 2 台を用意します。余裕のある方は、チラシを配布しながら歩いていただきます。
・事前に、各地区で、デモの予告と参加呼びかけを行います（チラシ、メール、街宣、新聞など）。
・広く賛同者を募り、全体実行委員会と地区実行委員会を設けてこの企画を実行します。
全体実行委員会は、全体のプランを調整・立案し、各地区共通のチラシ作製、広報を行います。
地区実行委員会は、当該地区のデモ参加者の募集と組織、広報を行います。また、地区でのデモ行進、集会、交流集会の準備を行い、これらを実行します。

「高浜―関電本店リレーデモ」賛同者リスト（順不同）

9 月 25 日現在、中嶌哲演、小林圭二、服部良一、米澤鐵志、若泉政人、滝川順朗、仲尾　宏、掛谷岩男、新開純也、高瀬元通、坂元知則、田川晴信、物江克男、三浦俊一、野坂昭生、木戸進次、稲村　守、寺田道男、中沢浩二、古橋雅夫、仰木　明、須藤光郎、大湾宗則、塚本泰史、西村　修、松原康彦、福山義和、武市常雄、木原壯林、各氏のご賛同を確認しています。この他、多数の賛同予定者が居られます。

「高浜―関電本店リレーデモ」へのご賛同をお願いします。

ご賛同頂ける方は、下記をご記入ください。

1. お名前：　　2. ご住所：〒
3. 電話（携帯電話番号）：　　4. E-メール：

「高浜―関電本店リレーデモ」へのご参加をお願いします。

ご参加頂ける方は、下記をご記入ください（1 日や半日のみのご参加も受け付けます。）

1. お名前：　　2. ご住所：〒
3. 電話（携帯電話番号）：　　4. E-メール：
5. 参加可能日と地区：　　（後日、詳細をご相談します。）

「高浜―関電本店リレーデモ」の実行委員を募集します。

ご参加頂ける方は、下記をご記入ください。

1. お名前：　　2. ご住所：〒
3. 電話（携帯電話番号）：　　4. E-メール：
5. 下記、何れの実行委員をお引き受けいただけますか（ご選択ください）。

全体実行委員

地区実行委員（ご担当頂く地区をご選択ください。居住地区以外からの参加も可です。）

高浜（出発集会）若狭（高浜から熊川まで）、滋賀北部（熊川から近江舞子まで）、
滋賀南部（近江舞子から大津まで）、京都（大津から長岡まで）、高槻（長岡から吹田まで）、
大阪（関電包囲大集会）